

# 2022年2月期 第1四半期決算説明資料

JNSホールディングス株式会社  
2021年7月14日





# Ⅰ：2022年2月期第1四半期 決算概要

---

- ◆DXソリューション事業の売上高減少により、連結売上高は前年同期比約2割減
- ◆総利益率は上昇するも、販売投資拡充等により営業利益は104百万円の損失を計上
- ◆(株)バリューデザインの持分法適用関連会社化に伴う持分法投資損失47百万円等により経常利益は151百万円の損失を計上

単位：百万円	2020.1Q	2021.1Q	前年同期比	
			百万円	%
売上高	1,815	1,420	▲395	▲22%
総利益 (%)	546 (30%)	538 (38%)	▲8 (+8%)	▲1%
販管費 (%)	483 (27%)	643 (45%)	+160 (+18%)	+33%
営業利益 (%)	63 (3%)	▲104 (▲7%)	▲167 (▲10%)	—
経常利益 (%)	31 (2%)	▲151 (▲11%)	▲182 (▲13%)	—
純利益 (%)	34 (2%)	▲133 (▲9%)	▲167 (▲11%)	—

## 売上高

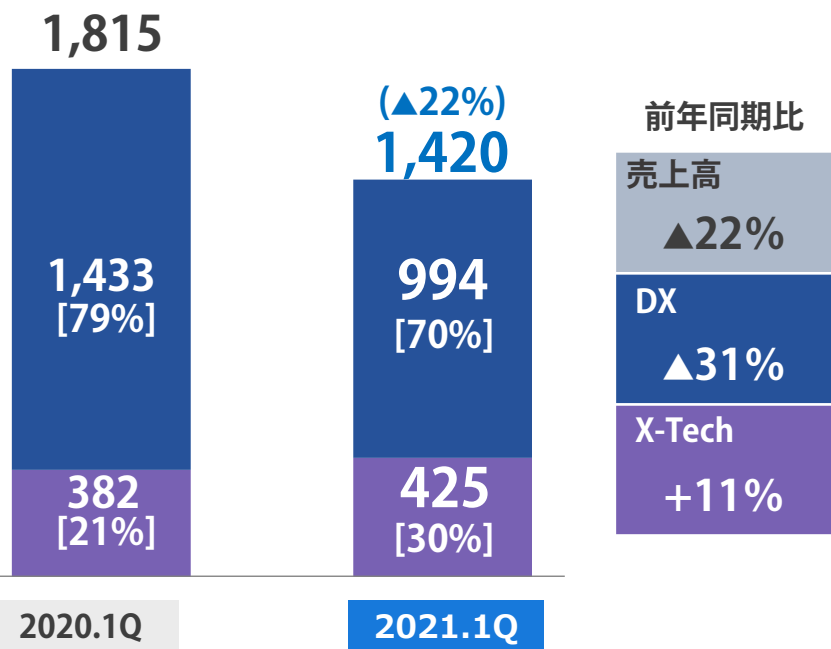
DXソリューション事業が前年同期比約3割減、X-Techサービス事業は二桁成長を維持

## 営業損益

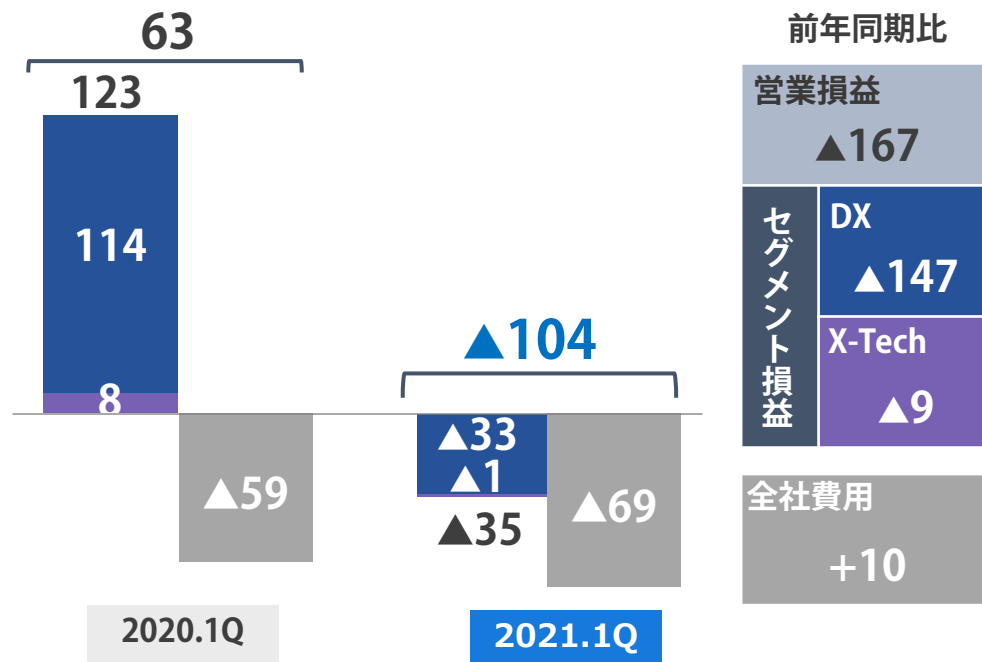
DXソリューション事業が前年同期比147百万円悪化し、セグメント損失を計上

単位：百万円 ( ) 内は前年同期比 [ ]内は構成比

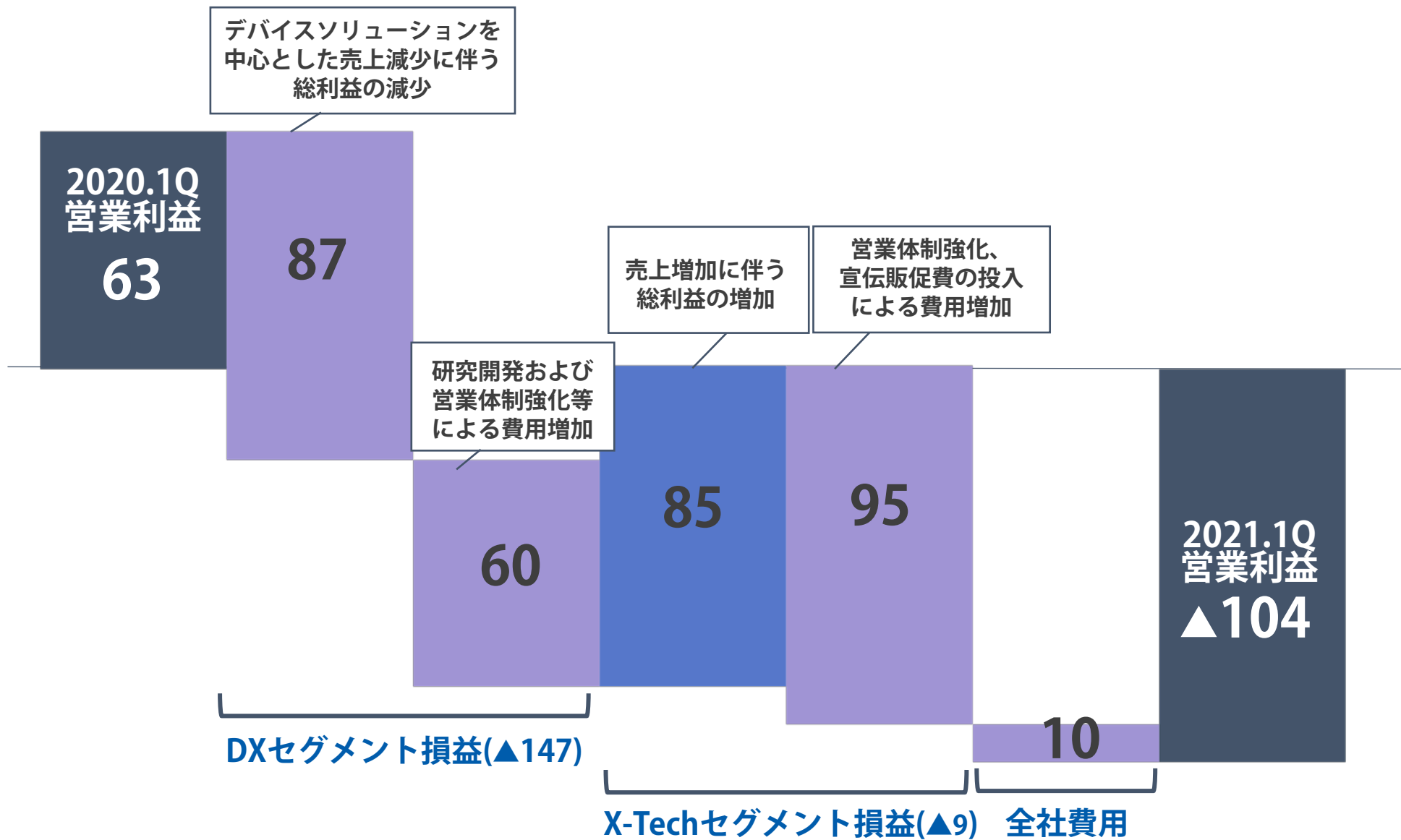
### 売上高



### 営業損益

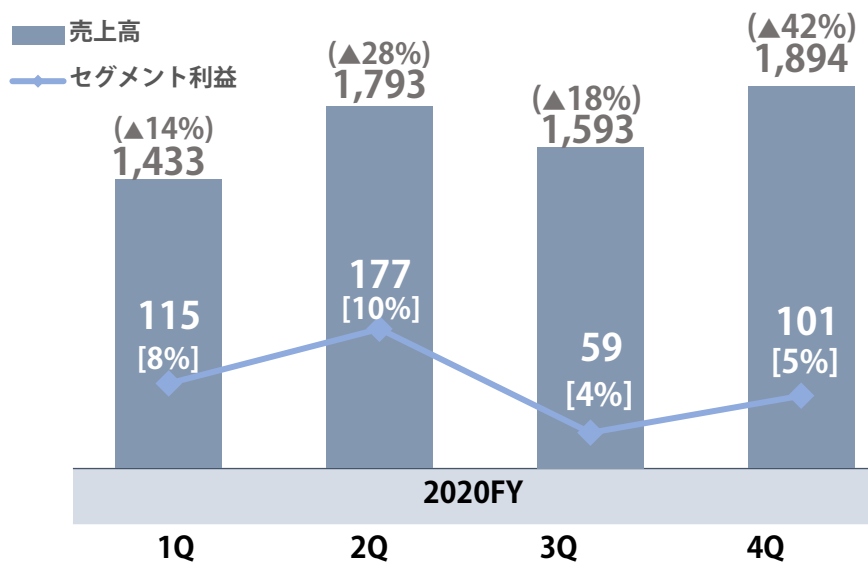
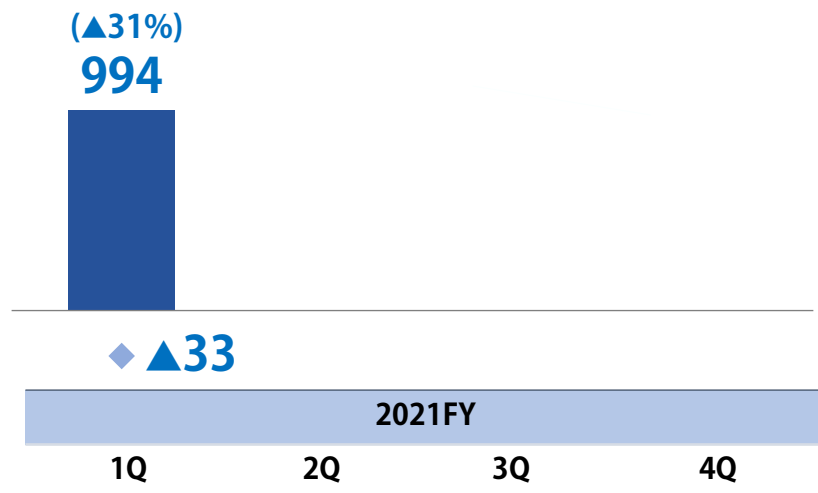


# 営業損益増減要因（対前年同期比）



単位：百万円 ( ) 内は前年同期比 [ ]内は利益率

■ 売上高  
◆ セグメント利益

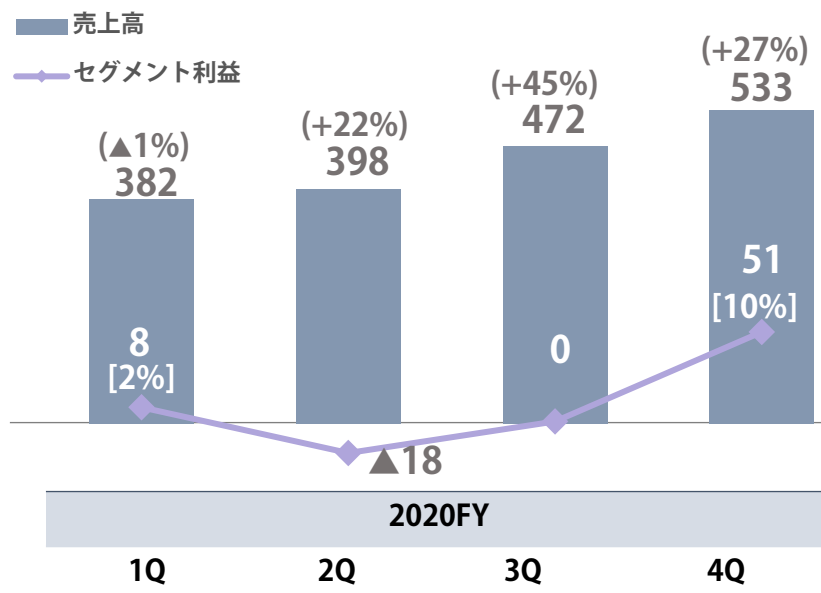
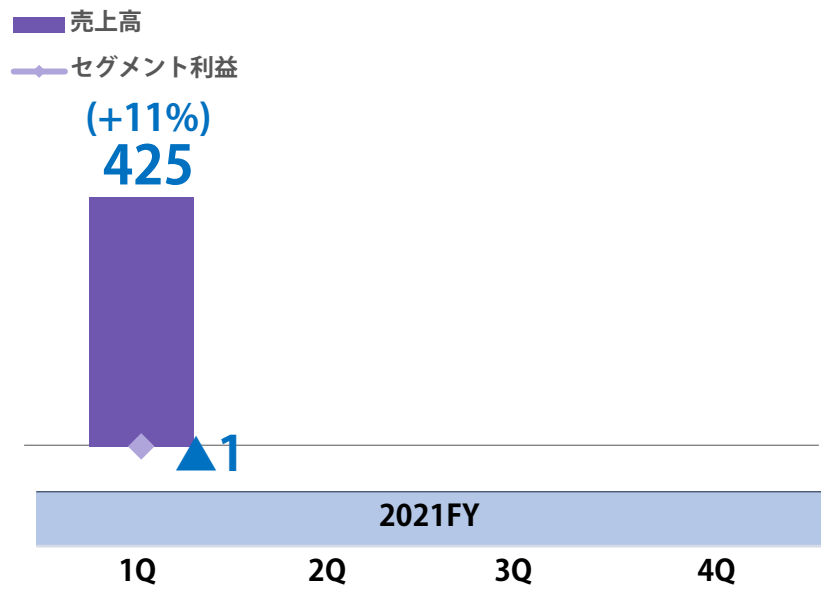


## 売上高は前年同期比約3割減少 セグメント利益は33百万円の損失

### 事業動向

- ◆長期化するコロナ禍における旅行関連需要の減退等により、インバウンドやモビリティ製品の受注低迷が継続
- ◆半導体等部材の需給逼迫と価格高騰により製造遅延や採算悪化が生じた結果、デバイス事業の業績が大幅に悪化
- ◆サービスソリューション事業は、政府やベンチャー企業をはじめとした、DX領域の新規サービス案件を中心に堅調に推移

単位：百万円 ( ) 内は前年同期比 [ ]内は利益率



## 売上高は二桁成長を継続 セグメント損益は採算を維持

### 事業動向

- ◆ビジネス系Techサービスは投資フェーズにあるとの観点から、営業体制強化と宣伝販促施策への投入を継続
- ◆「GIGAスクール構想」の進展に伴い、デジタル教材プロデュース案件が順調に推移
- ◆健康志向の高まりとDX気運が相まって、法人向けウォーキングイベントサービスやヘルスケアサービスプロデュース案件が拡大

# 貸借対照表概況



単位：百万円

	前期末(21/2)	当期末(21/5)	増減
流動資産	3,995	5,169	+1,174
現金及び預金	2,050	3,006	+956
売掛金・受取手形	1,038	712	▲326
	主として売上高の減少に伴う売掛債権の減少		
前渡金	192	607	+415
	主として受注の増加に伴う部材調達資金の増加		
その他	715	844	+129
固定資産	2,881	3,368	+487
有形固定資産	204	210	+6
無形固定資産	511	573	+62
	主としてX-Techのソフトウェア開発の増加		
投資その他の資産	2,165	2,584	+419
	主として上場会社株式の追加取得による増加		
資産合計	6,876	8,538	+1,662
自己資本比率	75.6%	59.8%	▲15.8%

	前期末(21/2)	当期末(21/5)	増減
流動負債	1,457	1,846	+389
前受金	127	290	+163
	主として受注の増加に伴う増加		
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金	349	705	+356
	主として中長期運転資金の確保に伴う増加		
その他	981	851	▲130
固定負債	186	1,546	+1,360
	主として中長期運転資金の確保に伴う借入金の増加		
負債合計	1,643	3,393	+1,750
株主資本	5,154	5,004	▲150
	主として純損失の計上による繰越利益剰余金の減少		
その他の包括利益累計額	44	101	+57
新株予約権	33	39	+6
純資産合計	5,232	5,144	▲88
負債・純資産合計	6,876	8,538	+1,662

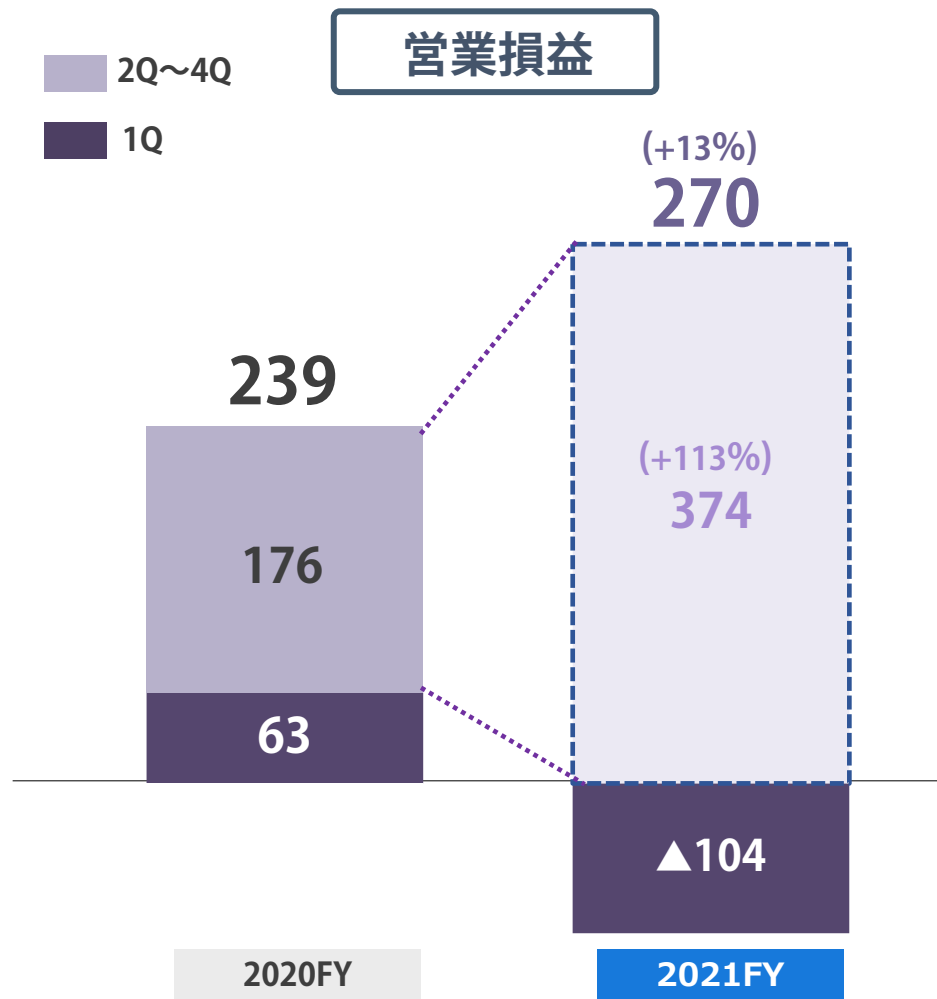
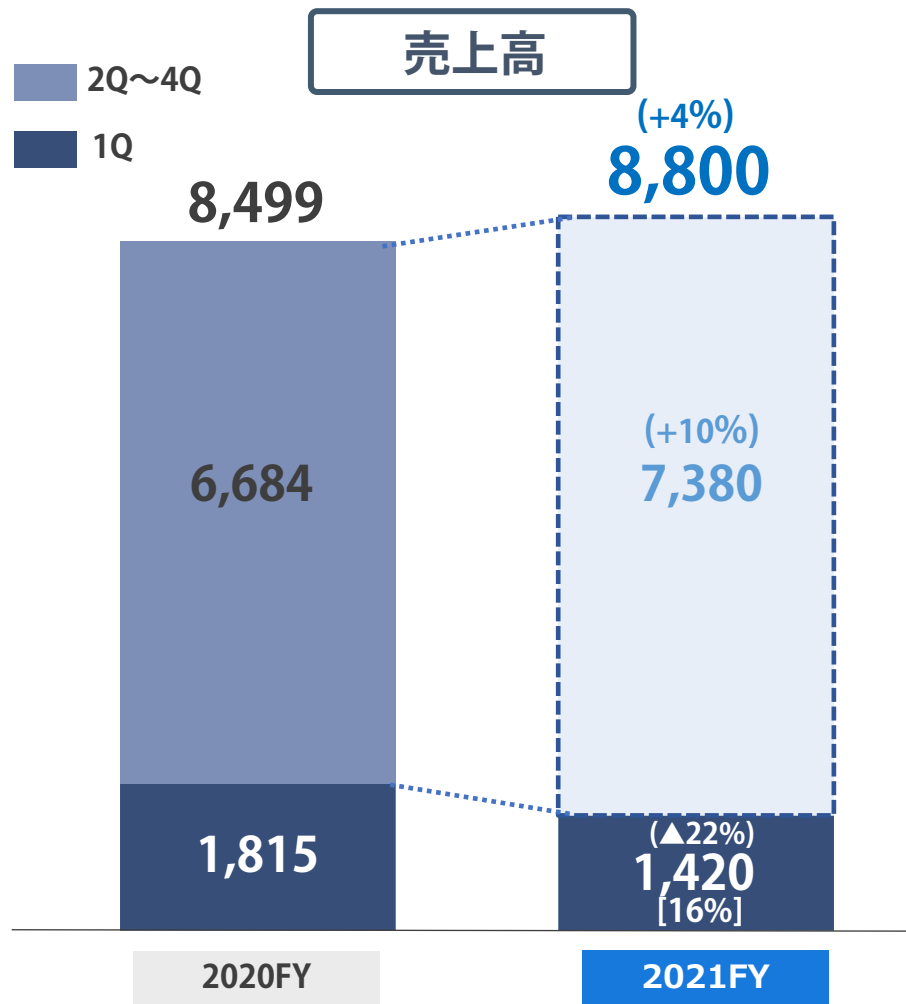


JINS II : 2022年2月期 業績見通し

---

## 2021年度年間業績予想は期首予想から変更無し

2021FY/2Q~4Q前年同期比 売上高：10%増 営業利益：113%増



単位：百万円 ( ) 内は前年同期比 [ ]内は進捗率

## DXソリューション事業

### ■デバイスソリューション事業は、下期に向けて回復を見込む

- ・インバウンド、モビリティ製品中心から、法人向けICT製品や新たなIoTデバイスへの事業構造の転換を推進中で、受注面では着実に対応が進展
- ・半導体等部材受給逼迫への対応として、設計見直しによる代替部品への変更など製造面でのリカバリー対策を断行中

## X-Techサービス事業

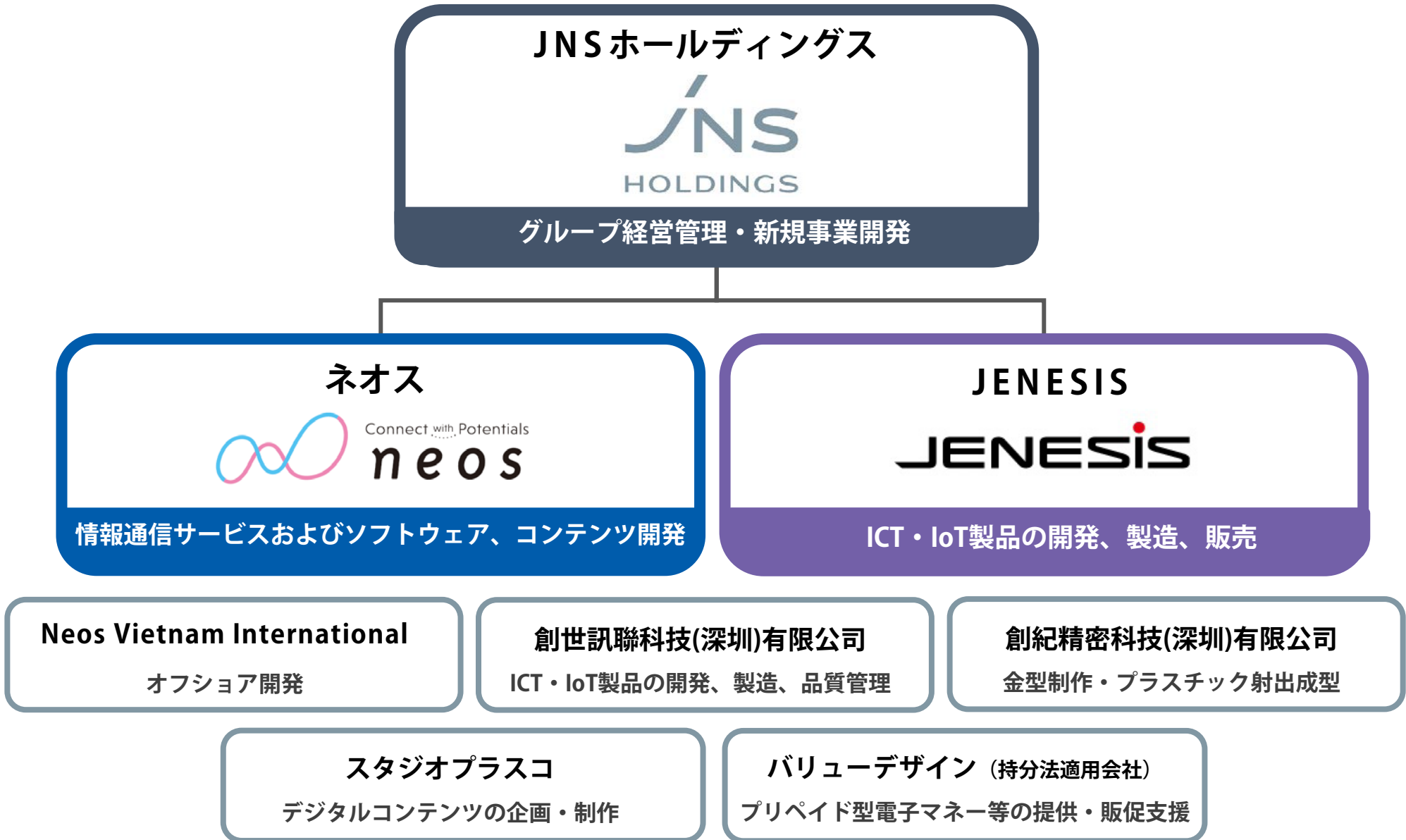
### ■コンテンツ・サービス事業は、2Q発売新作Switchソフトの出荷が期首予想を大幅に上回り、セグメント利益拡大に貢献の見込み

- ・7月15日発売決定に伴う受注開始にあわせて、販売店へのユーザーからの事前予約が好調に推移
- ・巣ごもり需要の継続や10月の新型Switch発売などの要因もプラスに影響

## JNS III : Appendix

---

所在地	東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館10F
連結従業員数 (2021年2月末現在)	449名 (国内254名・海外195名)
設立	2004年4月
上場 (証券コード：3627)	2008年5月 東証マザーズ上場 2012年1月 東証第一部へ市場変更
資本金 (2021年5月末現在)	2,382,195千円 発行済株式数 11,962,800株
主要法人株主	株式会社NTTドコモ シャープ株式会社 KDDI株式会社
連結子会社	ネオス株式会社 JENESIS株式会社 創世訊聯科技(深圳)有限公司 (中国) 創紀精密科技(深圳)有限公司 (中国) Neos Vietnam International Co., Ltd (ベトナム) スタジオプラスコ株式会社
決算期	2月



JNSホールディングス傘下の事業会社  
NEOS、JENESISを軸に2つの事業を展開

## DX ソリューション事業

### デバイスソリューション

中国深圳のサプライチェーンを活用した、小ロット・低コスト・高品質を担保する独自の生産体制を強みに、企画・設計から開発、量産、カスタマーサポートまで対応

### サービスソリューション

ICT、IoTサービスにおける企画、UI/UXデザイン、コンテンツ・サイト・アプリ・システムの開発からクラウド構築、運用までをトータルで提供

## X-Tech サービス事業

### ビジネス系Techサービス

業務の効率化を実現するチャットボット等のビジネスコミュニケーションサービスやキャッシュレス決済サービスを提供

### コンテンツ系Techサービス

知育アプリやヘルスケア、キャラクターコンテンツなど幅広くサービスを提供  
教育・健康分野での知見を活かした法人向けサービスプロデュース事業も展開

※( )内は対前年度末

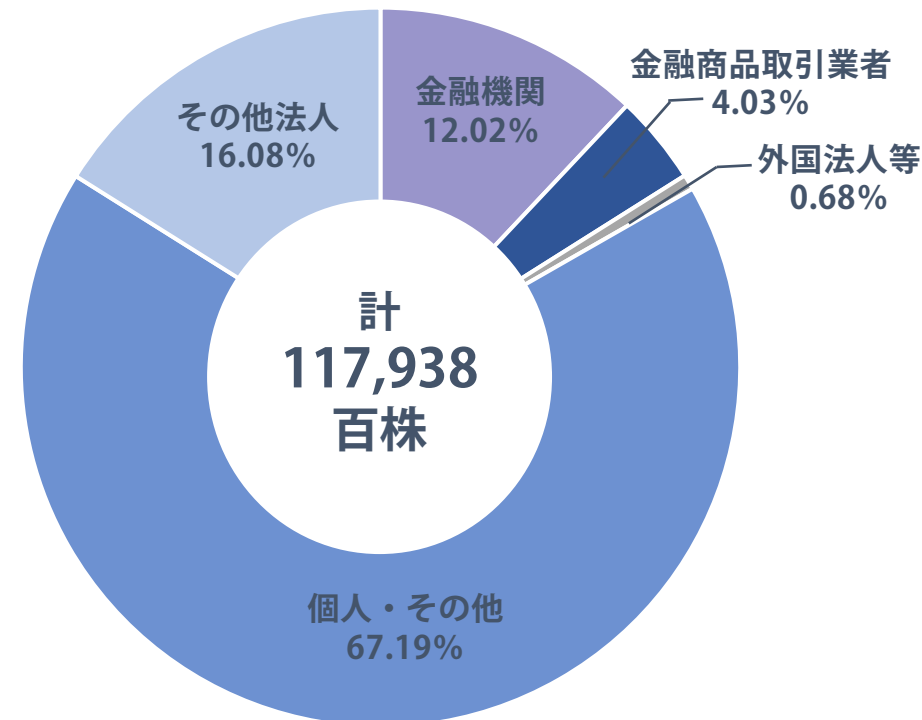
発行済み株式総数 11,793,800株  
(+310,300)

株主数 7,564名  
(▲397)

## 大株主(上位10名)

	所有株数(株)	持株比率(%)
池田 昌史	1,877,800	15.92
(株) NTTドコモ	1,020,000	8.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	582,600	4.94
シャープ (株)	360,000	3.05
KDDI (株)	210,000	1.78
井川 等	208,100	1.76
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	170,200	1.44
藤岡 淳一	157,300	1.33
株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	150,200	1.27
マケナフィールドズ (株)	137,700	1.17

## 株式所有者別分布







# Leap walls, Create the Future

“技術”と“感性”で  
壁を越える、未来を創る

DX／X-Techのイノベーティブな技術と感性で  
社会の発展と未来に貢献してまいります

 **IR** メールニュース  
【購読無料】

当社IRに関する最新情報を  
タイムリーにお届け致します  
<https://www.jns.inc/ir/>